

**平成 28 年度富山県計画に関する
事後評価**

**令和 2 年 10 月
富山県**

3. 事業の実施状況

平成28年度富山県計画に規定した事業について、令和元年度終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【NO.5（医療分）】 脳卒中情報システム体制整備事業	【総事業費】 4,996千円
事業の対象となる区域	県全体	
事業の実施主体	富山県	
事業の期間	平成30年1月1日～令和2年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	脳卒中患者の急性期、回復期、維持期の診療や各期の連携体制等を評価し、脳卒中患者の発生・重症化予防、急性期機能から回復期機能への患者の円滑な移行等に取り組んでいく必要がある アウトカム指標： t-PAによる血栓溶解療法の実施件数：人口10万対7.5(H27) →全国平均以上(H31) 地域連携計画作成等の実施件数：人口10万対54.9(H27) →増加(H31)	
事業の内容（当初計画）	各期の診療状況、患者の身体状況（生活機能状況）、各期の連携状況を評価するデータを検討し、関係医療機関がオンライン上でデータを入力できるシステムを構築	
アウトプット指標（当初の目標値）	評価指標を反映したシステムの構築 システムに参加する医療機関数 20施設	
アウトプット指標（達成値）	システムに参加する医療機関数 24施設	
事業の有効性・効率性	<p>（1）事業の有効性 県内の急性期、回復期の脳卒中患者の診療状況やリハビリテーション状況のほか、入院時と退院時（リハビリ後）の身体状況や運動機能等の比較により、その実態が明らかとなった。</p> <p>（2）事業の効率性 既存のシステム（急性期の情報）に回復期を追加し、急性期と回復期のデータを紐づけした情報収集により、機能や連携の実態が明らかとなった。</p>	
その他		